



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1176 / 2013. 12. 20

例 会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

http://www.akasakarotary.com/

東京赤坂ロータリークラブ週報 Weekly Report

2013～2014 年度クラブテーマ
会長 西澤 民夫

「みんなで参加、心地よいチャレンジを！」
Join Together with Good Challenge!

●本日の例会/ 2013 年 12 月 20 日 第 1284 回

夜間例会・忘年家族会

会場：ANA インターコンチネンタルホテル東京
B1「ギャラクシー」

18:00～ 例会（17:30～登録開始）

18:30～ 忘年家族会

「ALSOK BRASS amica(アミーカ)」演奏会

●前回報告/2013 年 12 月 13 日 第 1283 回例会

卓 話：「ゴルフに感謝」

プロゴルファー 牛山 正則 氏



卓話紹介:橋本 年男 会員

SAA 委員会：(穂苅リーダー)

本日、例会前に SAA 委員会を開催。来年 1 月の例会よりテーブルマスター制を導入することとしました。テーブルマスター制の目的は①ビジターに当クラブをより楽しんでもらうこと。②会員相互の交流をより促すことです。テーブルマスター用のプレートや胸に差すカーネーションを用意します。詳細は来年 1 月初にご連絡します。

慶事披露：誕生祝

吉田用親君

(12 月 3 日)

高須康有君

(12 月 23 日)



出席報告： 会員 37 名／出席 26 名 欠席 11 名
ゲ ス ト： 牛山正則（卓話） 計 1 名（敬称略）

●次回予告/ 2014 年 1 月 10 日 第 1285 例会

新年初例会

『新年のご挨拶』

会長 西澤 民夫

『新春 能』

能楽師 武田 文志

規定審議会勉強会に出席して

2013 年の規定審議会では審議された結果について、2750 地区で 2 回にわたり勉強会が行われました。第 1 回は、10 月 7 日に行われ、田村幹事が、第 2 回は 11 月 27 日に行われ、村山がそれぞれ出席しました。この勉強会で取り上げられたテーマは、主に下の表の中の 1～6 の分野（70 項目）でした。

＜ 2013 年 規定審議会のテーマ ＞

1. クラブの運営 (13-01～13-10)
2. 出席 (13-11～13-29)
3. クラブ例会 (13-30～13-37)
4. 会員 (13-38～13-53)
5. 地区 (13-54～13-63)
6. ロータリーの綱領、奉仕部門、年次テーマ (13-64～13-70)
7. ロータリー財団 (13-71～13-74)
8. R I 役員と選挙、国際ロータリー、立法手続き、決議案 (13-75～13-199)

テーマ 1～3 が第 1 回目の勉強会で、4～6 が 2 回目の勉強会で議論されました。私が参加したのは 2 回目ですが、会とはほとんど新藤パストガバナーから一方的に説明がなされ、時々新藤さんに促された方がコメントするという形で進行していました。参加者は 40 名程度でした。

この勉強会は、個々の審議項目を詳細に検討するというよりも、審議項目を通じてロータリーの現在の傾向、そしてこれからどういう方向に向かおうとしているのかを探ろうとしているのかのように私には見えました。

「クラブの運営」に関しては、幹事を理事会の一員にすべきかとか、クラブの役員に副会長と SAA を含めるべきかなど極めて細かいことだが、現実の運用に当たっては避けて通れない問題が多数審議されています。

出席、クラブ例会や会員の問題は今後のロータリーのあり方に関わる問題を多数提起しているように思えます。e クラブなどの出現に伴い、ロータリーを特徴付けている週 1 回の例会をあまり尊重する必要がないのではないかという種類の提案が多く見られます。また、このこととも関連しますが、奉仕プロジェクトへの参加を例会出席そのものと同列に看做すという考え方が広まってきていて、それを容認するための定款や細則変更の提案が多く見受けられます。若い人や女性の勧誘を促進するためには、例会出席よりも奉仕プロジェクトに参加することを強調すべきだと考えるようになってきているのでしょうか。

話の本題とは関係ないが、会議の途中で入会 1 年目という弁護士さんからの発言は示唆に富んでいて面白かった。この規定審議会や手続要覧に使われている文章や用語はまったく日本語になっていない、読む気すら失わせる、一刻も早く正確で平易な日本語に改善すべきであるというものでした。

(文責:村山研修委員)

イニシエーションスピーチ(12 月 5 日)

2013 年 3 月 1 日入会 石井 達 氏

西澤会長および田村幹事の紹介で 2013 年 3 月 1 日入会の石井達(すすむ)と申します。団塊の世代に当たる 1948 年生まれ(65 歳)です。

【近況】先月末は当会で来年はじめ予定の卓話より一足早く渋谷の観世能楽堂へ出かけ、武田友志(ともゆき)・文志

(ふみゆき) 兄弟出演の舞台を見てまいりました。これは西澤会長主宰のオープン・イノベーション・フォーラム「ローマの市場にて」での出会いがきっかけですが初めての能鑑賞です。また、先月初めは舟木ガバナーのPBG公式訪問に同行し、初めてのグアム島で2RC(グアム・サンライズとノーザン・グアム)の例会に参加し、ところ変われば例会の雰囲気も違うという経験をしました。自慢ではありませんが、自腹を切って海外旅行に出かけたのは数年前の上海に続き2回目です。

【転機 A】そもそもこのような現在の私に至る生活に転じたのは15年ほど前(50歳ころ)からです。

それまでは給料取りでした。といってもあまりサラリーマン根性はありませんでしたが、50歳ころ、母が要介護状態となったこともあり、会社勤めは辞めました。その後はよくあるパターンと思いますが、色々な会合やセミナーに顔を出しているうちにバイオベンチャー支援団体に入会し、理事となり事務局に参画し任意団体からNPOへの組織替えを手伝いました。この団体は事情により退会済みですが、初めてバイオベンチャーへ投資する契機となりました。これ以降バイオに限らず多数のベンチャーに投資してきましたが、そのかなりの部分にあるエンジェル組織が隔月開催するプレゼン会での発表企業が占めています。この組織は10年くらい活動した後、2年半ほど前に解散しましたが、その後継として会員有志が設立した任意団体(私もメンバー)が月例会を開催しています。

時間が前後しますが、母はやがて認知症が進み10年ほど前に他界しました。その後、一昨年の夏に唯一残された親兄妹である妹が亡くなりました。そのような中で、「ローマの市場にて」へ3.11の前月に知人から紹介されたのが縁で入会し、以来ほぼ毎回参加しております。実際に、ここでのプレゼン企業数社に投資したほか、プレゼンターとして私の投資先企業などを多数紹介しました。他には新丸ビルで家主の三菱地所が丸の内の活性化を目指して運営している東京21Cクラブの会員を2年半ほど続けておりますが、そこでグローバル向け動画配信の分野へ低廉なプラットフォーム提供という切り口で挑んでいる韓国人と知り合い、支援を続けています。

【生まれ】ところで、私の生家は現在住んでいるところ(千葉県市川市東菅野)で、家系図が江戸時代末ごろまで遡れます。万葉の時代は海で、陸との境は国府台、真間、宮久保の辺で、手児奈が身を投げたという崖が真間の地名に残っています。いつも駅へ行く道は車両一方通行ですが、永井荷風の通った道として有名で、時期的に我が家の前を通る荷風を年少のころ見ているとおかしありません。

【転機 B】大学1年の時、父は胃がんの手術をしましたが再発し大学4年の7月帰らぬ身となりました。途端に、母妹との家族3人の明日からの生活という問題に直面することになります。工学部の学生には夏休みのインターンがつきものですが、事情により参加せず、試験合格していた国家公務員になる道も選びませんでした。とても普通の給与ではやりくりできなかったことも一因です。生計のため利用可能な所有地に賃貸マンションを建築することにしました。貸室事業は紆余曲折を経ながら現在まで続いております。世間知らずの身ですから海千山千の不動産業者に何回も騙されましたが、他人を騙したことはないのが誇りです。長じてベンチャー投資という最も危ないとされることに参加しましたが、そこでも同様です。

大学を卒業してからは、成り行きで修士課程をふたつ経験することになります。最後は30歳近くになっていましたので流石に大企業への就職には不利であり、たまたま大学の募集貼り紙で見つけた世界中の航空会社がスポンサーとなっている航空会社の共同通信網運営会社(SITA)に入りました。SITAの日本乗り入れ(拠点創設)準備の時期にあたり創業メンバーでしたが、当時この事業をできるのは半官半民のKDDのみでしたので、通信自由化到来までKDDのサービスという位置づけでした。ここでのしごとは私を含め通信業務未経験の若者が実施するわけですから当初はてんてこ舞い・失敗続きの毎日でした。その後、外国組織という制約を感じ、折から通信自由化の波に乗り設立された第二電電企画(後のDDI)

に転職し、サービス開始前後の大混乱を体験しました。こちらもやがてDDIがKDDと合併してKDDIができる前に辞め、旧職場のSITAが航空会社以外を対象としたサービスを始めるというので誘いを受け再度転職しました。インターネットが盛んになる前の時代でしたが、時に利あらず事業は芳しくなく辞めることになります。

【結】最後になりますが、2年半ほど前に妹が突然他界したことは私にとって衝撃的であり、その後意識的に「少しやり過ぎと思うくらいがちょうどよい」というモットーを胸に人生を送っております。昔の私しか知らない者が現在の私を見たらきっと驚くことでしょう。

皆様、今後とも宜しく願いいたします。



めんぼう No101

西澤 民夫

保険の話(その3)

菅沼メンバーからの面白い話第三段。今回は分散投資の観点から、選べる通貨と期間で運用を考えた内外金利差についてです。

内外金利差とは、「内」と「外」の金利差です。つまり日本(内)と外国(外)の金利の差の事です。ワールドワイドに事業を展開されている皆様にとってはもう十分にご理解されている簡単な事だと思いますが、個人的な将来の年金の準備という観点でとらえる時、通貨と期間の分散投資は大変重要だと考えます。

日本の金利は長らくゼロ金利政策を続けております。発行されている国債のボリュームと将来支払われる利払い、それから充てられる税収を考慮すると、今後も金利の上昇は期待出来ないでしょう。しかし海外に目を向けると年率3%、5%、中には10%を超える金利の国もあります。金利は国の信用力や国際競争力、ポテンシャルに左右されるのも事実ですが、適度な分散投資の実施により何かの価値が下がる局面でも相対的価値を上げる事により資産の目減りを軽減する事が可能と成ります。

また将来に關しての時間的な問題として、人口減少と老人が世界で一番多く成る我が国日本の将来における国際競争力を考慮すると、どこまで円高を維持する事が可能なのか等などです。高く評価されている円高の現在、高利回りの外貨にて分散する事は、国際競争力を失った結果円安に堕った場面でも、リスクヘッジに繋がるものと信じております。

上記問題点を解決するソリューションとして、前回レポート時にご紹介いただいた年金等を、円以外の他通貨にて分散する結果、解決出来るものと理解している。

今回は生命保険を利用した相続節税についてレポートしたいと思います。



12月13日(金) / 11件 22,000円

累計 679,000円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

西澤民夫/牛山プロ本日は楽しみにしています。橋本年男/牛山プロ、今日の卓話よろしく願いいたします。楽しみです。田村昭二/本日の例会を含め今年も後2回。早いものです。石井謙次/石井達さん先週のスピーチ、大変ユニークでよかったですね。高須さん、いよいよ還暦ですね。尾関武男/石井さん、先週は卓話大変楽しく聞きました。本日にここにご苦労様です。高須康有/誕生日祝いありがとうございます。とうとう還暦を迎えました。小原健/東京グローバルロータリークラブ創立は、あと一息というところですよ。ご支援をお願いします。吉田用親/石井さん、助成金選考委員お引き受けいただきありがとうございます。誕生祝ありがとうございます。小林博茂/忘年会は12/20!あと1週間です。親睦委員会全員で準備しております。楽しみにしてください。土屋東一/石井達さんニコニコご苦労さまで。石井達/本日の卓話楽しみにしております。